

令和4年度 第3回千代田区図書館評議会 議事要旨

【日時等】

- 〈実施日〉 令和5年2月1日（水） 14：00～15：10
〈場 所〉 千代田区役所 4階 401 会議室
〈出席者〉 ◦ 評議会委員（7名）
野口 武悟（会長） 鵜田 拓哉（副会長）
丸山 郁太郎 高山 剛一
木原 一雄 福山 伸隆
北島 敦子
◦ 事務局
千代田区文化振興課長 加藤 伸昭 他3名
〈欠席者〉 ◦ 評議会委員（1名）
戸栗 大貴

【資料】

—当日配付資料—

1. 令和4年度 第3回千代田区図書館評議会 議事次第

—事前配付資料—

2. 資料1 令和4年度の評価方法について（案）
3. 資料2 令和4年度図書館評価シート（案）
4. 資料3 図書館運営状況 令和2・3・4年度比較図表

【次第】

- 1 開会
文化振興課長挨拶
- 2 議題
令和4年度千代田区立図書館運営の評価について
- 3 連絡事項
次回日程

【議事経過】

1 開会

＜文化振興課長 挨拶＞

文化振興課長より、挨拶および資料確認を行った。

2 議題

＜令和4年度千代田区立図書館運営の評価について＞

会 長： まず資料1「令和4年度の評価方法について（案）」の評価の視点から確認していく。

令和元年度は、①実績評価、②指定管理者による自己評価、③評議会委員の評価の3つの視点から評価を行ったが、コロナ禍になり令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応の影響から、実績値の単純比較が難しくなり、②指定管理者による自己評価と③評議会委員の評価の2つの視点から評価を行ってきた。

続いて、図書館の運営状況を示した資料3「図書館運営状況令和2・3・4年度比較図表」をみると、年度や時期によってコロナ対応がさまざまな状況にあり、徐々にコロナ禍の制限は緩くなってきているものの、令和4年度も単純に実績値だけを前年度と比較することは難しいと考えるが、委員の皆様からご意見をいただきたい。

委 員： 評価シート（案）に、3年度実績はあるが2年度実績がないのは、2年度・3年度がコロナ禍で同様の状況だからと理解してよいか。

会 長： コロナ前の状況ということで元年度、コロナ禍の状況ということで3年度を記載している。

委 員： 4年度の実績が分かるのはいつごろか。

文化振興課長： 評価項目が多く細かいものなので、精査をして7月の評議会には皆様に提示したい。

委 員： 現実的には実績を評価から外すことになるが、ウィズコロナになってコロナ禍での実績の変化を見ながら評価項目を考えたりするのも一つの手段と思う。

会 長： 5年度の評価をどうするかという場合には、その視点や議論が必要である。

委 員： 今までの意見に賛成である。開館状況や座席数など正常な状態に戻りつつあるが、ウィズコロナの状況下で前年度・前々年度と比較してシビアに見ていくことは、あまり賢明ではないのではないかと。

委 員： 基本的には今までの意見に賛成である。4年度は、2年度・3年度と若干状況は違うが、ある程度制約された状況下で運営された部分がどう変化していったかを見ればよいのではないかと。

委 員： 基本的にこの方針でよい。コロナが5類になった場合に、図書館の運営方針で何か変わる部分はあるか。

文化振興課長： 国や都の方針がある程度出てきた段階で、図書館の方針を決めることになる。

会 長： 図書館としての対応もあるが、利用者の意識の部分もある。そのあたりは、これからの状況に応じて検討が必要である。

- 副 会 長： 基本的にはこの案でよい。4年度に関して、評価の際にコロナの影響や意識がどこかに残っているうちは、大きく方針は変えない方が評価もしやすいのではないかな。
- 会 長： 4年度の「評価の視点」は、資料1で示した3年度同様、2つの視点で進めていく。
- 委 員： 続いて、「評価の流れ」「評価基準」は、資料1で示した形でよいか。
- 委 員： 評価方法の大枠は問題ないが、指定管理者による自己評価について、評価値は主な取り組みごとに各指標の評価があり、その細かな積み上げがあって、各評価項目の自己評価につながっていると思うが、その細かな積み上げの経緯も見えた方が評価しやすいのではないかな。
- 会 長： 自己評価の評価値はどこをもってなのか、細かな項目ごとにどう評価されて全体の評価につながっているのか見えないところである。しかし、その過程も評価するのか、自己評価を記述する際に言葉で補う形にするのか、検討が必要であるが、評議会の要望として指定管理者へその旨を伝えていただきたい。
- 文化振興課長： 今の委員、会長からのご意見を参考に、指定管理者の自己評価の中で、評価値の経緯が分かる形を検討していく。
- 委 員： 評価基準は、何か目標を定めて達成度がどうだったか分かる基準にした方がよいのではないかな。
- 会 長： コロナ以前の評価基準はその方式だったが、今はあくまでもコロナ禍の中での評価なので、5年度以降はどうするのかコロナの状況を見据えながら検討が必要である。
- 文化振興課長： 承知した。
- 会 長： ほかに、ご意見はいかがか。
- 委 員： (特になし)
- 会 長： それでは「評価の流れ」「評価基準」は皆様の了承を得たこととする。
- 続いて、評価シートについて、評価項目ごとにお気づきの点があればご意見をお願いしたい。まず評価項目①の「千代田ゲートウェイ」に関していかがか。
- 文化振興課長： 指標1の「Facebook・Twitterでの情報発信回数」に、4年度から配信を行っているLINE・YouTubeを追記している。それ以外の追記・削除はない。
- 委 員： 評価シートにある「主な取り組み」の1～5の項目に対して、指標の1～5が対応していると思うが、主な取り組み2の「コンシェルジュによる総合案内、地域情報の収集・提供」と、指標2の「図書館内での区内情報発信回数」の関係性が分かりづらい。
- 会 長： 「主な取り組み」に対応した指標になっているのかどうか、コンシェルジュの対応件数を追加できるかなども含めて事務局で精査をお願いしたい。
- 文化振興課長： 承知した。
- 会 長： 評価項目の②「ビジネスを発想するセカンドオフィス」に関していかがか。
- 委 員： 指標4の項目で「無線LANの提供」の欄は斜線になっているが、必要か。
- 事 務 局： 無線LANは、そもそも区で設置しているため、指標の欄は斜線をつけている。
- 会 長： 今後は、※印で表の欄外に、区として提供している旨を記載しておけば、指標から外してもよいのではないかな。

文化振興課長： 承知した。

会 長： 評価項目の③「区民の書齋」に関していかがか。

委 員： 指標1の「資料の貸出数」と、5の「千代田 Web 図書館貸出件数」は、似て異なるものだと思うが、例えば指標1は、蔵書資料の貸出数に表現を変えて、分かりやすくしてもよいのではないか。

会 長： 全部含んだ数と捉える方もいるかもしれないので、区分けが分かる表記がよい。

文化振興課長： 例えば「所蔵資料の貸出数」として、その下に※印で電子書籍を除くと追記し、分かりやすく工夫する。

会 長： 指標4の「点字資料・大活字本・デジター図書等蔵書数」で、蔵書数を聞いているが、これらの利用は、「資料の貸出数」の中に反映されているか。

文化振興課長： 入っている。

会 長： ここでは蔵書数なので、利用がどれくらいあったかも分かるとありがたい。

文化振興課長： システムでそれらの利用件数の抜き出しができるかどうか確認する。

委 員： さまざまなホームページを見ると、最近の利用案内などは、動画を使ったものが浸透してきているが、千代田区の図書館ホームページの中でそれを見つけ出すことができなかった。今後、動画の本数やそのアクセス数など、利用に関するものを充実し指標としていくことも面白いと思う。

文化振興課長： 確かに映像で案内をするといった視点は非常に重要である。指定管理者とも動画の活用について、協議していきたい。

委 員： 普段あまり見られない、立ち入れないところの動画など面白いのではないか。

会 長： 例えばバックヤードを動画で紹介することはどうか。

文化振興課長： 確かに見られないところが見られるということは、人の心をくすぐるものなので、その部分も検討していきたい。

会 長： 今の学生はテレビより動画サイトをよく活用しているようで、若者に訴えかけるという意味でも動画をうまく活用するとよいかもしれない。

また、他区の会議では区民の方から、図書館の専門的な立場から本のお話を聞きたいという意見があった。例えば、図書館司書がお薦めの本を動画で紹介することで、魅力的な千代田ならではのお話が聞けたりするとよいと思う。

文化振興課長： 承知した。検討していく。

会 長： 評価項目の④「クリエイトする書庫」に関していかがか。

委 員： (特になし)

会 長： 評価項目の⑤「ファミリーフィールド」に関していかがか。

委 員： 区立小・中学校のビブリオバトルやポップバトルは、図書館が協力しているというよりも、学校で行っている行事か。

文化振興課長： そのとおりである。

委 員： 図書館の評価には入れられないか。

文化振興課長： 評価項目にするのは難しい。図書館司書が学校支援の中でアドバイスはしているかもしれないが、その程度である。

会 長： おはなし会とあるが、読み聞かせの会は行っていないのか。よく図書館の業界ではストーリーテリングをお話ということがあり、おはなしと読み聞かせとは、別と捉えている。

- 文化振興課長： 千代田区では、読み聞かせの会をおはなし会としている。
- 委員： ブックスタートは、本を読み始める何かイベントのことか。
- 文化振興課長： 千代田区内で生まれたお子さんに対して、保健所の3～4か月児健診で、健診を受けたお子さんに対して、初めての絵本という形で渡している。そのことをブックスタートと言っている。
- 会長： 評価項目の⑥「管理運営等」に関していかがか。
- 委員： 利用環境整備の欄が斜線になっているが、どうしてか。
- 文化振興課長： 例えば椅子や机など、さまざまな利用環境の整備は、数値化して評価できるものではないため、記述により報告することと整理している。しかし、他の項目に合わせ斜線ではなく一（バー）に修正する。
- 会長： 最後に全体を通して、いかがか。
- 委員： 評価項目の①になるが、日比谷ではクオリティの高い企画を定期的に行っている。SNSのつながりを持つことによって、リピーターを確実に増やしていくサービスがあってもよいのではないか。
- 文化振興課長： メールマガジンの配信は行っているが、お申込みいただいた際のメールアドレスは、個人情報保護の規定に基づき消去してしまうため、登録制であれば検討の余地があるかと思う。
- 副会長： 評価項目②の3「データベース利用件数」について、利用できるデータベースの数はいくつあるか。
- 文化振興課長： このデータベースは、商用のデータベースで、千代田は14件、日比谷は13件である。
- 副会長： 評価項目⑤の1「児童室・赤ちゃんルーム満足度」について、利用者アンケートでも児童室と赤ちゃんルームをまとめて聞いているのか。
- 文化振興課長： 利用者アンケートでも、「利用者満足度（児童室・赤ちゃんルーム）」として、一緒の項目で聞いている。
- 会長： 委員の皆様から評価シートについてのご意見をいただいて、確認や修正が必要な点もあったので、事務局に修正をお願いし、修正後の評価シートの確定は、会長・副会長に一任いただきたい。
- 文化振興課長： 令和4年度の図書館評議会もこの第3回をもって終了となる。また、令和3年度・4年度の2か年の任期であった、第8期千代田区図書館評議会委員の会合もこれで最後となる。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

3 連絡事項

- 文化振興課長： 前回の評議会でご意見をいただいた、図書館の視察は、来年度第1回の評議会
で実施する予定である。
次回、令和5年度第1回の図書館評議会は、7月の開催を予定している。
詳細は、第9期の評議委員会委員の皆様にご追って事務局から連絡する。
以上で令和4年度第3回千代田区図書館評議会を閉会とする。